

西粟倉村 『立志式』

〜大人への決意を新たに〜



二月二十日(水)、あわくら会館大ホールで立志式が行われました。式典では、青木議長をはじめとする来賓の方々から激励の言葉をいただき、村からの記念品を受け取りました。

その後、立志を迎えた十七名の生徒を代表して福島澤さんが、

一、自分の夢に向かって努力することを誓います。

一、思いやりの気持ちを大切に、助け合うことを誓います。

一、私たちは自分の役割に責任を持ち、決まりを守り、はじめをつけることを誓います。

一、私たちはこの西粟倉に生まれたことに誇りを持ち、どんなことにも自信を持って頑張っていくことを誓います。

と、誓いのことばを述べて、出席した生徒全員が決意を新たにしました。なお、立志式に向けて二年生全員の文集を作りましたので、代表して二人の生徒の作文を紹介しします。

「将来の夢」

白岩 瑠美

私の将来の夢は、福祉士になることです。

なぜなら、お年寄りの人の言葉と笑顔が好きだからです。私は中学校になってから、ボランティアをしました。その時、福祉施設の方に行きました。お年寄りの人と話をしたり、食事のお手伝いをするのがすごく楽しく思いました。そして「ありがとう」って言うのがとてもうれしくて、私はありがとうと思ってくれる職業につきたいと思いました。でも福祉士になったら、いっぱい免許が必要になります。私はそれができないので、困っています。

夢は夢で終わりがたくないと考えています。私にはできないかもしれませんが、できる範囲のことをしたいと思います。そしてみんなが喜んでくれて、自分がして良かったと思えるような将来の自分になりたいです。夢をかなえるのはむずかしいかもしれませんが、少しずつ実行していきたいと思えます。夢は実現するためにあるんだと思います。

「将来の夢」

中島 望

私の将来の夢は、ヘア&メイクアップアーティストになることです。もともと美容に関する仕事に興味がありました。資格などは特になくて、実力がすごく大事になるそうです。思っていた以上に難しそうだなと思いました。この仕事を知ったのはテレビで、初めは楽しそうだと思ったのがきっかけでした。私はメイク一つでその人の雰囲気が変わったり良くなったりします。髪もその人に似合う長さやその人がしたい髪形にして喜んでもらいたいです。顔やメイクの仕方でも悩んでいる人たちの手助けになればいいと思います。

でも今まで、まだ化粧とかしたことがありません。なので今は、自分に合っている仕事

なのかよくわかりません。その人に合ったメイクをしなければなりません。それに加えて、その人にそのメイクを気に入ってもらわなければなりません。化粧品の種類、顔の輪郭や特徴などを色々覚えておかなければならないことが多い仕事ですが、夢をかなえられるようにしたいです。

